



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月8日

上場取引所 東 大

上場会社名 日本カーバイド工業株式会社

コード番号 4064 URL <http://www.carbide.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 河原塚 勝良

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 角田 尚久

TEL 03-5462-8212

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	12,651	△4.7	798	△45.4	647	△52.8	301	△58.9
23年3月期第1四半期	13,275	29.9	1,461	908.1	1,370	719.2	733	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 661百万円 (△19.8%) 23年3月期第1四半期 825百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	4.51	—
23年3月期第1四半期	10.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	57,685	15,425	25.3
23年3月期	56,027	14,869	25.2

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 14,621百万円 23年3月期 14,146百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,000	△0.7	1,400	△45.0	1,300	△46.9	800	△45.9	11.95
通期	56,000	6.6	3,800	△19.2	3,600	△20.1	2,000	△31.0	29.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、4ページ「(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	66,990,298 株	23年3月期	66,990,298 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	52,898 株	23年3月期	52,444 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	66,937,744 株	23年3月期1Q	66,939,016 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する情報	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における経済環境は、中国を中心とした新興国に牽引されてきた景気の回復基調は、米国や欧州諸国の財政危機の深刻化による金融不安などにより、緩やかなものとなりました。わが国においても、円高の進行に伴う輸出の減少、原材料価格の高騰や厳しい雇用情勢に加え、東日本大震災の影響によるサプライチェーンの混乱や電力供給不足の懸念などにより、依然として、景気の先行き不透明感は払拭されないまま推移しました。

当社グループを取り巻く環境は、化学業界や電子部品業界においては、原材料価格の高止まりや円高などの影響に加え、液晶関連向け製品の需要の落ち込みやそれに伴う操業度の悪化などもあり、全般的に厳しい状況で推移しました。一方、建設・建材関連業界においては、震災による消費マインドの悪化や資材不足の影響はあったものの、住宅着工の回復などもあり順調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループはお客様満足度の向上を図り、拡販など積極的な事業活動を推進するとともに、グループを挙げてコストダウン活動と在庫削減活動に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は126億5千1百万円（前年同期比4.7%減）、営業利益は7億9千8百万円（前年同期比45.4%減）、経常利益は6億4千7百万円（前年同期比52.8%減）、四半期純利益は3億1百万円（前年同期比58.9%減）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より、PT ALVINY INDONESIA を連結の範囲に含めております。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

(化成品関連製品)

当該事業の主な取扱製品は、ファインケミカル製品、メラミン樹脂、接着製品などであります。

このうち、ファインケミカル製品は電子材料向けなどが堅調に推移し、前年同期比増収となりました。メラミン樹脂関連製品は国内向けが順調に推移し、前年同期比増収となりました。接着関連製品は光学関連分野向けが低調に推移し、前年同期比減収となりました。

以上により、化成品関連製品の売上高は39億6千7百万円と前年同期比1億4千7百万円(3.6%減)の減収、セグメント利益は3億6千4百万円と前年同期比3億7百万円(45.8%減)の減益となりました。

(フィルム・シート製品)

当該事業の主な取扱製品は、マーキングフィルム、ステッカー、再帰反射シート、包装用フィルムなどあります。

このうち、マーキングフィルムは国内向けが低調に推移し、前年同期比減収となりました。ステッカーは東南アジア地域での販売が順調に推移し、前年同期比増収となりました。再帰反射シートは中国並びに欧米向けの販売が低迷し、前年同期比減収となりました。包装用フィルムは中国での販売が堅調に推移したものの、国内向けが低調に推移し、前年同期比減収となりました。

以上により、フィルム・シート製品の売上高は38億2千4百万円と前年同期比1千3百万円(0.3%減)の減収、セグメント利益は4千4百万円と前年同期比2億4千8百万円(84.9%減)の減益となりました。

(電子材料製品)

当該事業の主な取扱製品は、セラミック基板、厚膜印刷製品、プリント配線板などです。

このうち、セラミック基板は液晶関連向けが低迷したことにより、前年同期比減収となりました。プリント配線板は一部震災による影響に加え、情報関連向けが振るわず、前年同期比減収となりました。

以上により、電子材料製品の売上高は19億1百万円と前年同期比9億1百万円(32.2%減)の減収、セグメント損失は3千7百万円(前年同期は3億3千万円の利益)となりました。

(建材関連)

当該事業の主な取扱製品は、住宅用アルミ建材などですが、住宅着工戸数の回復などにより、販売は順調に推移し、前年同期比増収となりました。

以上により、建材関連の売上高は21億4千2百万円と前年同期比3億5千7百万円(20.0%増)の増収、セグメント利益は5千3百万円(前年同期は3千4百万円の損失)となりました。

(エンジニアリング)

当該事業の主な事業内容は、産業プラントの設計・施工などであり、景気の緩やかな回復基調が鈍化したことにより受注高は減少したものの、工事の完工が増加し、販売は好調に推移したことにより、前年同期比増収となりました。

以上により、エンジニアリングの売上高は15億4千6百万円と前年同期比3億8千8百万円(33.5%増)の増収、セグメント利益は2億3百万円と前年同期比1億9千2百万円の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前期末比16億5千8百万円増加し、576億8千5百万円となりました。

このうち、流動資産は、売上減に伴い受取手形及び売掛金が減少したものの、棚卸資産が増加したことなどにより、前期末比16億2千8百万円増加し、276億2千万円となりました。固定資産は、有形固定資産は増加したものの、投資その他の資産が減少したことなどにより、前期末比2千9百万円の増加にとどまり、300億6千4百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前期末比11億3百万円増加し、422億6千万円となりました。

このうち、流動負債は、支払手形及び買掛金が増加したことなどにより、前期末比12億7千4百万円増加し、279億9千9百万円となりました。固定負債は、長期借入金の返済などにより、前期末比1億7千1百万円減少し、142億6千万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、利益剰余金が増加したことなどにより、前期末比5億5千5百万円増加し、154億2千5百万円となりました。この結果、自己資本比率は前期末の25.2%から0.1ポイント改善し、25.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績は、前年同期比減収減益ではありますが、期初に公表している連結業績予想の範囲で推移しておりますので、平成23年5月12日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する情報

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,670	4,665
受取手形及び売掛金	13,616	13,252
商品及び製品	4,374	5,131
仕掛品	1,517	1,477
原材料及び貯蔵品	1,757	1,945
その他	1,139	1,248
貸倒引当金	△85	△100
流動資産合計	25,992	27,620
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	5,439	5,658
土地	14,034	14,252
その他(純額)	6,139	6,454
有形固定資産合計	25,612	26,365
無形固定資産	412	425
投資その他の資産		
その他	4,217	3,481
貸倒引当金	△208	△208
投資その他の資産合計	4,008	3,273
固定資産合計	30,034	30,064
資産合計	56,027	57,685

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,844	10,462
短期借入金	12,967	13,755
1年内償還予定の社債	200	200
未払法人税等	276	89
賞与引当金	534	594
その他	2,902	2,898
流動負債合計	26,725	27,999
固定負債		
社債	200	200
長期借入金	6,684	6,514
退職給付引当金	2,463	2,516
役員退職慰労引当金	162	161
再評価に係る繰延税金負債	4,446	4,445
負ののれん	32	25
その他	441	397
固定負債合計	14,431	14,260
負債合計	41,157	42,260
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,197	6,197
資本剰余金	1,567	1,567
利益剰余金	2,510	2,691
自己株式	△8	△8
株主資本合計	10,267	10,447
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△294	△280
繰延ヘッジ損益	△18	△20
土地再評価差額金	6,381	6,378
為替換算調整勘定	△2,189	△1,904
その他の包括利益累計額合計	3,879	4,173
少数株主持分	723	803
純資産合計	14,869	15,425
負債純資産合計	56,027	57,685

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	13,275	12,651
売上原価	9,313	9,301
売上総利益	3,961	3,350
販売費及び一般管理費	2,500	2,551
営業利益	1,461	798
営業外収益		
受取利息	12	19
受取配当金	20	27
その他	72	50
営業外収益合計	105	97
営業外費用		
支払利息	99	84
為替差損	50	123
その他	45	40
営業外費用合計	195	249
経常利益	1,370	647
特別利益		
固定資産売却益	5	—
投資有価証券等売却益	—	1
負ののれん発生益	—	5
貸倒引当金戻入額	1	—
特別利益合計	7	6
特別損失		
固定資産除却損	21	2
投資有価証券等評価損	1	4
減損損失	372	3
災害による損失	—	125
特別損失合計	394	136
税金等調整前四半期純利益	982	517
法人税、住民税及び事業税	213	183
法人税等調整額	11	△29
法人税等合計	224	153
少数株主損益調整前四半期純利益	758	363
少数株主利益	24	61
四半期純利益	733	301

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	758	363
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△112	13
繰延ヘッジ損益	0	△1
為替換算調整勘定	179	286
その他の包括利益合計	67	298
四半期包括利益	825	661
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	754	587
少数株主に係る四半期包括利益	71	74

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

	報告セグメント						調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	化成品 関連製品 (百万円)	フィルム・ シート製品 (百万円)	電子材料 製品 (百万円)	建材 関連 (百万円)	エンジニ アリング (百万円)	合計 (百万円)		
売上高								
外部顧客への売上高	4,113	3,836	2,802	1,778	878	13,409	△134	13,275
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	0	—	6	279	286	△286	—
計	4,114	3,837	2,802	1,785	1,158	13,696	△421	13,275
セグメント利益又は 損失(△)	671	292	330	△34	11	1,269	101	1,370

- (注) 1 外部顧客への売上高の調整額△134百万円には、決算日の異なる連結会社間取引の調整額△277百万円及び請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高178百万円が含まれております。
- 2 セグメント利益の調整額101百万円には、棚卸資産に係る未実現損益85百万円が含まれております。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

	報告セグメント						調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	化成品 関連製品 (百万円)	フィルム・ シート製品 (百万円)	電子材料 製品 (百万円)	建材 関連 (百万円)	エンジニ アリング (百万円)	合計 (百万円)		
売上高								
外部顧客への売上高	3,966	3,823	1,901	2,139	1,221	13,052	△400	12,651
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	0	—	2	324	327	△327	—
計	3,967	3,824	1,901	2,142	1,546	13,381	△729	12,651
セグメント利益又は 損失(△)	364	44	△37	53	203	628	19	647

- (注) 1 外部顧客への売上高の調整額△400百万円には、決算日の異なる連結会社間取引の調整額△273百万円及び請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高△127百万円が含まれております。
- 2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。